

西条市のごみ組成調査結果（抜粋）

1 調査目的

「西条市一般廃棄物処理基本計画」の策定における基礎資料として、地域・地区ごとのごみ減量可能量、資源化可能量と分別不徹底状況を把握するため、市内から排出された家庭系もえるごみのごみ質を調査した。

2 調査対象及び試料数

家庭系もやせるごみは、各地域（一般住宅地域、新興住宅地域、共同住宅地域、商業住宅地域、農村山間住宅地域）でごみ質に違いがあると考えられるため、それぞれについて代表的な 1 試料を調査対象とした。

ただし、全地域の人口の約半分を占める一般住宅地域については地区（西条地区、東予地区、丹原地区、小松地区）ごとに調査した。

代表性の確保は、それぞれ、排出量（袋全数）の多い収集区域（ステーション）を担当する収集車両からのごみ袋を混合した後、1 試料 20 袋を採取して行った。

なお、ごみ質調査は 7 月、8 月の計 2 回実施した。

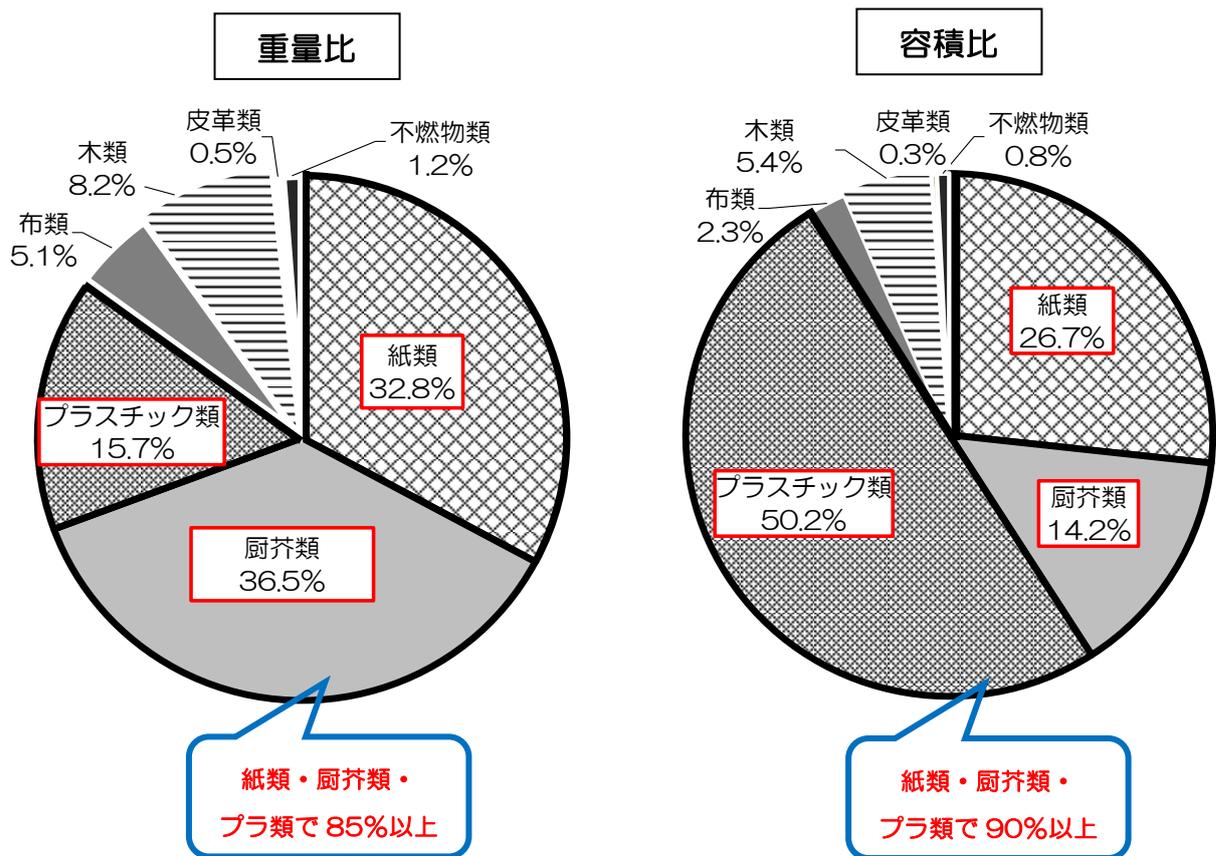
図表 1-1 調査対象及び試料数

調査対象	試料数
一般住宅地域（西条地区、東予地区、丹原地区、小松地区）	各 1 試料
新興住宅地域	1 試料
共同住宅地域	1 試料
商業住宅地域	1 試料
農村山間住宅地域	1 試料
合計	8 試料

図表 1-2 調査実施日及び場所

調査対象	実施日		実施場所	
	第 1 回目	第 2 回目		
一般住宅地域	西条地区	7 月 12 日(月)	8 月 30 日(月)	西条市道前 クリーン センター
	東予地区	7 月 12 日(月)	8 月 30 日(月)	
	丹原地区	7 月 12 日(月)	8 月 30 日(月)	
	小松地区	7 月 13 日(火)	8 月 31 日(火)	
新興住宅地域	7 月 12 日(月)・13 日(火)	8 月 30 日(月)・31 日(火)		
共同住宅地域	7 月 12 日(月)・13 日(火)	8 月 30 日(月)・31 日(火)		
商業住宅地域	7 月 12 日(月)・13 日(火)	8 月 30 日(月)・31 日(火)		
農村山間住宅地域	7 月 12 日(月)・13 日(火)	8 月 30 日(月)・31 日(火)		

◆「もえるごみ」の組成について◆



◆組成状況について

- ・重量比は、紙類、厨芥類及びプラスチック類で8割以上を占めている。
- ・容積比は、プラスチック類が半分以上を占めている。

◆組成状況からの課題について

- 1 資源ごみの拠点回収を検討
 - ・重量の半分近くを占める紙類、プラスチック類がもえるごみに混入されていることから常時、回収できる場所を検討する。
→リサイクル意識及びリサイクル率の向上
- 2 資源ごみの回収頻度を見直し
 - ・紙類の中には、ダンボールや広告紙などリサイクルできるものが混入されていることから、回収頻度を見直す。
→定期的なリサイクル活動が継続可能
- 3 ダンボールコンポストの普及活動
 - ・商業住宅地域では、食べ残しや食材の切れ端などの厨芥類が他地域より多いことから、堆肥化できる生ごみ処理機やダンボールコンポストの普及推進を行う。
→生ごみ排出の減量化